

## ひろしま郷土資料館だより

NO. 97

## 特別展「明治時代の広島」

会期：平成30年12月7日(金)～平成31年2月17日(日)



## 明治時代前期の広島市街 個人蔵

本川西岸、本川橋西詰よりやや下った、西地方町（中区土橋町・河原町）から北東方向を向いて撮影したもの。中区土橋町の中国新聞社所在地あたりにあった光昇楼という高層建築物から撮影されたと考えられます。

平成30年（2018）は明治元年（1868）から150年の節目の年にあたり、全国各地で様々な事業が行われました。本展示もその一つであり、広島県や広島市が成立していく過程や広島の近代化において画期となった出来事などを分野別に取り上げ、城下町から近代都市へと変容していく明治時代の広島を紹介しました。

## 目次

- P 1-3 特別展「明治時代の広島」  
P 3 図録新刊紹介  
P 4 企画展「広島のお宝発掘」  
P 5 新着寄贈資料  
企画展『『ごんぎつね』が語る昔のくらし』

- P 6 「駄菓子作り広場」  
活動報告 教室事業日程一覧  
平成30年10月～平成31年3月分  
P 7 活動報告 郷土史講座・その他事業  
平成30年10月～平成31年3月分  
P 8 次年度企画展の予定

明治新政府は、討幕に参加した諸藩の大名に対しては従来どおりの統治を認めましたが、版籍奉還や藩政改革命令を通じて段階的に藩の画一化・地方役所化を進め、最終的には明治4年(1871)7月に廃藩置県を断行します。広島藩では明治2年(1869)正月に浅野<sup>ながみち</sup>長訓から長<sup>ながこと</sup>勲に藩主の座が譲られ、長勲が精力的に藩政改革を進めていました。しかし、凶作の影響や藩による<sup>にせがね</sup>贋金鑄造が問題化したことにより、改革は不十分なまま廃藩置県を迎えました。その直後、広島城下では領民による旧藩主一族の東京移住を阻止する騒動が勃発し、瞬く間に「武一騒動」と呼ばれる全県的な一揆・打ちこわしに拡大しました。廃藩置県に伴い広島城本丸御殿に置かれた広島県庁では、その対応に苦慮することとなりましたが、説諭や武力鎮圧の末、ようやく10月に騒動は終息しました。

成立当初の広島県域は旧広島藩領と同じ安芸一国と備後8郡でしたが、その後、他県との統廃合が進められ、明治9年(1876)4月に現在とほぼ同じになります。一方、庄屋・年寄などによって自治が展開されていた村・町については、「大区小区制」という地方制度が採用されます。この制度は、戸籍作成のために複数の町村をまとめて区(戸籍区)とし、戸長などの役人を置いたことに始まるもので、広島県では明治5年(1872)1月頃に大区小区制へ移行し、郡と広島城下は大区に、従来の区(戸籍区)は小区となりました。これにより広島城下は第一大区となり、その中は、当初24、後に12の小区に編制されました。その後、明治11年(1878)11月に大区小区制は廃止され、第一大区と称していた広島は広島区となり、さらに明治22年(1889)4月の「市制」施行により広島区は広島市となります。

このようにして広島県が生まれ、旧広島城下は県庁所在地となり、さらに広島市が成立していきます。その後、広島の近代化は、宇品築港の完成(明治22年〔1889〕)、山陽鉄道の広島開通(明治27年〔1894〕)、日清戦争(明治27・28年〔1894・95〕)と日露戦争(明治37・38年〔1904・05〕)を経て加速され、軍都としての色彩を強めていきます。その一方で、広島高等師範学校の開校(明治35年〔1902〕)は、広島における高等教育機関の充実や文化活動の活性化に大きく寄与し、広島は学都とも称されるようになります。軍関係施設や広島高等師範学校、明治中期以降増加する工場などは、広大な敷地が確保できる城下町の辺縁部に設けられ、市街地も拡大していきます。さらに近代化が加速される大きな要因となったのは、明治時代末に行われた広島城の外堀や運河の埋め立てです。埋め立てで誕生した幹線道路の一部には路面電車の軌道が敷かれていましたが、電車が開通した



広島県庁 『広島諸商仕入買物案内記并二名所しらべ 全』(当館蔵)より

明治11年(1878)4月に広島水主町(現在の中区加古町)で開庁した広島県庁です。県庁は明治4年に広島城本丸に置かれていましたが、後に移転を繰り返し、水主町へ移転しました。



のは明治天皇崩御後の大正元年（1912）11月のことでした。これにより従来の中島地区や元安橋周辺に加え、広島駅周辺、八丁堀、紙屋町、宇品地区が近代的な繁華街として発展していくこととなります。

今回の展示は、1.藩から県へ、2.広島県と広島市の成立、3.文明開化とくらし、4.殖産興業と商工業、5.第五師団と日清・日露戦争、6.城下町から近代都市へ、の6部構成とし、古文書・古写真・絵葉書など約100点の資料を出展しました。いずれも貴重な資料ですが、その中には巻頭の彩色写真など初公開となった資料もあり、注目を浴びました。最後になりましたが、こころよく出展にご協力をいただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

会期中の来館者：2,779人

（篠原 達也）



公文附属の図・一八一号 府県新設区ノ図(広島)

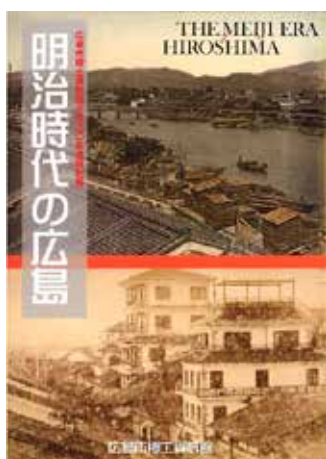
明治13年(1880)5月 国立公文書館蔵

大区小区制廃止後の広島区を描いた地図で、破線が当時の広島区の境界線です。仁保島（現在の南区黄金山）や宇品島（南区元宇品）は、この時点では安芸郡に属していました。



展示風景

## 新刊紹介 特別展図録「明治時代の広島」



定価：750円(税込)

送料：300円(2冊の場合は350円)

発売：2018/12/7

A4判 56ページ(カラー)

### ●目次

はじめに

目次・凡例

1 藩から県へ

2 広島県と広島市の成立

3 文明開化とくらし

4 殖産興業と商工業

5 第五師団と日清・日露戦争

6 城下町から近代都市へ

年表

資料一覧

参考文献

謝辞

# 企画展「広島のお宝発掘～2万年前から明治時代まで」

会期：平成31年3月1日（金）～5月6日（月・振）

広島市内の遺跡から出土した数多くの埋蔵文化財の中から、広島市重要有形文化財を含む、選りすぐりの出土品を展示しています。広島市内出土の埋蔵文化財【49テーマ・36遺跡・139点】の展示ですが、これほどまとめて紹介する機会はありません。また、「北清事変記念碑の破片」のように初公開の遺物もあります。2万年前から明治時代まで、土の中に眠っていた出土遺物を通して、来館者に地域の歴史により興味関心を持っていただきたいと思います。考古学に興味のある方、近所の遺跡を知りたい方、「なにこれ？」を見てみたい方など、幅広い年代の方にお楽しみいただける内容です。

展示の工夫としては、ものの面白さに焦点を当てています。まず、1階ロビー展示室の展示ケースにはトンガ坊城遺跡（安佐北区）出土の「コシキ形土器」を展示し、展示の導入として、「なんだこれ？」の大きなキャプションから、興味を持っていただくようにしました。メインの2階企画展示室では、区ごとに展示物をまとめ、その中で時代順に遺物を展示しています。49テーマの解説パネルでは、【どんな遺物？】【どこがお宝？どこが面白いの？】【遺跡の解説】に分け、【どんな遺物？】の箇所だけを読んでも、展示遺物のことが分かるようにしました。入館者の興味の時代・場所や見学時間など、その方のニーズに合わせて見ていただけるようにしました。最後のコーナーでは、各遺跡の発掘調査報告書を見ることができます。また、春休み期間から会期末（5月6日）までは、1階ロビーに貫頭衣（復元品）を揃え、竪穴住居のパネル前での撮影コーナーを設置し、お子様から大人の方まで楽しめるようにしました。



展示と展示ガイドのようす



貫頭衣を着て記念撮影もできます！

2万年前から明治時代の遺物を見ていただいて、感じていただきたことがあります。広島は原爆投下後から語られることが多くあります。広島はあの惨禍から復興へのたゆみない努力をしてきました。しかし、広島は1945年8月6日からではありません。去年は明治維新150年（1868年～）でした。今年は1619年に浅野長晟が広島に入城してからちょうど400年です。毛利輝元が広島城と城下町を造り始めたのが、430年前の1589年です。最近では、江戸時代や明治時代など戦前の広島が語られることが増えてきました。しかし、広島にはもっと前から人が暮らしていました。500年前、1000年前、2000年前、5000年前…そして2万年前。多くの広島人たちが長い歴史を作ってきました。そして今の広島があります。展示している埋蔵文化財を見ていただき、その時代時代の広島人たちの息遣いを感じて、広島は歴史にさらに興味を持っていただきたいと思います。

（河村 直明）

※この企画展は、平成24年4月～平成29年3月まで、毎日新聞広島版に毎月掲載（全60回）された「ひろしまお宝発掘」（広島市文化財団文化財課職員が作成）を基に再構成しています。出土遺物は広島市所蔵で、（公財）広島市文化財団文化財課が発掘、調査、保管しています。

## 新着収蔵資料

平成30年3月から平成31年3月までにご寄贈いただいた資料です。みなさまありがとうございました。

| 資料番号                     | 資料名                | 数量 | 寄贈者  | 受入年月日    | 備考                                 |
|--------------------------|--------------------|----|------|----------|------------------------------------|
| 2018-0001<br>} 2018-0014 | 書籍『通俗教育陸軍写真帖』ほか14件 | 14 | 河野正彦 | H30.3.15 | 陸軍の概要を一般向けに写真入りで紹介したもの             |
| 2018-0015<br>} 2018-0024 | 水彩画「杭打ち作業」ほか10件    | 11 | 木村浩治 | H30.7.11 | 昭和17年(1942)の草津の干潟におけるカキ養殖の様子を描いたもの |

## 企画展「『ごんぎつね』が語る昔の暮らし」

会期：平成30年9月4日(火)～11月25日(日)

郷土資料館の秋の恒例展示となっている企画展「『ごんぎつね』が語る昔の暮らし」。今年も学校団体や調べ学習を兼ねた家族での来館を中心に多くの方にご来場いただきました。小学校4年生の国語の教科書に掲載されている新美南吉の代表作『ごんぎつね』のストーリーをたどりながら社会科で学習する「昔の暮らしの道具と人々の暮らしのようす」を紹介する構成ということもあり、はりきり網やびく、火縄銃など、ストーリーとともに強く印象に残る場面で登場する道具は特に子どもたちの目を引き、実物資料の大きさや重みのある迫力を感じてもらうことができました。このほか、飯かごや飯びつ・箱膳・火鉢をはじめ、展示された様々な道具を熱心に観察しメモを取る姿が多く見られました。さらに今年度はクイズ形式のめくりパネルを4か所設置し、昔の生活道具に盛り込まれた工夫や生活道具の今と昔の違い、広島の郷土食に関連した道具をピックアップして紹介しました。家族連れで来館された方の中にはかつて自身の生活の中で実際に道具を使っていた世代の方もおり、道具を実際に使っていた当時の暮らしの様子を懐かしみながら一緒に展示をご覧になる方も多くみられました。



『ごんぎつね』のお話に沿いながら、昔の人々が使っていた民具を展示しました。

“昔”の道具や人々の暮らしの様子と聞くと不便さを感じるように想像しがちですが、現在の私たちの生活と比べることで、時代は違えど日々の衣食住といった生活環境をいかに快適、便利に過ごすかという知恵と工夫も見えてきます。『ごんぎつね』という一つの童話をとおして古くから残る暮らしに関する道具やそれらを使っていた頃の先人たちの暮らしのようすを想像することによって、当時の暮らしのようすの一端を知るとともに現在の私たちの生活のようすや道具との相違点を見つけ、人々の生活の知恵と工夫に気づくきっかけの場として、今後も世代を問わず多くの方に楽しんでいただければ幸いです。

会期中の来館者数：12,547名

(川橋 奈織)



## イベント「駄菓子作り広場」 実施日：平成30年11月3日（土・祝）

11月3日、文化の日。毎年この日ばかりは、普段は閑静な郷土資料館の周辺一帯が、にぎやかで楽しい雰囲気に包まれます。平成18年度から10回以上も続いている恒例イベント、「駄菓子づくり広場」が行われるからです。今年も晴天のもと、昔懐かしい駄菓子を自分で作ったり、祭りの縁日などでおなじみの遊びを体験できるブースの前で、老若男女問わずたくさんの来場者が楽しそうな笑顔を見せていました。

館に隣接する公園と駐車場を会場にして、駄菓子は「ポップコーン」「一銭洋食」「わらびもち」「ラムネ菓子」「綿菓子」の5ブース、また遊びは「スーパーボールすくい」と「型抜き」の2ブースを出店しました。これらのブースにそれぞれ5・6人のスタッフを配置するのですが、当館の職員だけでは当然足りず、他の博物館施設や当館のボランティアグループ、また三井ボランティアネットワーク事業団のボランティアなどから応援をいただいて総勢43人で運営しました。各ブースでは、当館職員がチーフとなり、いろいろな立場のスタッフが協力して来場者の対応を行います。最初は戸惑いもありますがすぐに打ち解け、和気あいあいとした和やかなムードで、参加した子どもたちとも楽しい会話が弾んでいました。

当日は入館料が無料ということもあり、7ブースでのべ5,659人もの方にご参加いただきました。またラジオ番組の生中継が入り、会場の陽気な雰囲気を電波にのせてオンタイムで発信していただいたことで、当館の知名度アップにもつながりました。これからも、地域の方々をはじめ多くの皆様に楽しんでいただき、また少しでも郷土資料館を身近に感じてもらえるようなイベントを目指して、職員一同工夫を凝らしてまいります。



ポップコーンまだかなあ…

（稲坂 恒宏）

## 活動報告 平成30年10月～平成31年3月

### 教室事業

| 実施日        | 事業名             | 参加者   |
|------------|-----------------|-------|
| 11月17日（土）  | 教室「手すきハガキ作り」    | 20名   |
| 11月24日（土）  | 親子教室「絵手紙で年賀状作り」 | 8組17名 |
| 12月15日（土）  | 親子教室「羽子板作り」     | 7組14名 |
| 12月22日（土）  | 教室「もちつき体験」      | 23名   |
| 1月20日（日）   | 教室「けん玉教室」       | 31名   |
| 1月26日（土）   | 親子教室「糸つむぎ体験」    | 19名   |
| 2月2日（土）    | 教室「鬼の節分工作」      | 4名    |
| 2月23日（土）   | 教室「バウムクーヘン作り」   | 20名   |
| 3月2日（土）    | 教室「わらざうり作り」     | 15名   |
| 3月21日（木・祝） | 教室「ぼたもち作り」      | 19名   |

## ひろしま郷土史講座

| 実施日      | 事業名                         | 参加者 |
|----------|-----------------------------|-----|
| 12月8日(土) | 第4講「幕末期の広島の動向」              | 56人 |
| 1月12日(土) | 第5講「買物案内記に見る明治前期の広島」        | 53人 |
| 2月9日(土)  | 第6講「明治時代の広島」                | 45人 |
| 3月9日(土)  | フィールドワーク 2「比治山で明治時代の痕跡をたどる」 | 27人 |

## その他の事業

| 実施日       | 事業名                                                                    | 主催等                                      | 参加者  |
|-----------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------|
| 10月6日(土)  | 講演「三角州と干拓によってつくられた広島」                                                  | NHK文化センター広島総支社                           | 3人   |
| 10月14日(日) | フィールドワーク「白島歴史さんぽ vol. 2」                                               | 白島地図製作委員会                                | 30人  |
| 10月18日(木) | 講演「地名の由来～祇園、古市、緑井、沼田…」                                                 | あさみなみ区民大学・安佐南区役所地域起こし推進課                 | 55人  |
| 10月28日(日) | 工作指導「みつばちのからくりのぼり人形作り」                                                 | 秋のグリーンフェア 2018実行委員会                      | 230人 |
| 10月28日(日) | フィールドワーク「きもの女子と歩く 広島5低山 & 水辺ウォーク no.2」                                 | 広島湾岸トレイル協議会                              | 20人  |
| 10月28日(日) | 授業「わたしたちの吉島と太田川」                                                       | 吉島小学校                                    | 500人 |
| 11月8日(木)  | 講演「西国街道こぼれ話」                                                           | 楽々園公民館                                   | 45人  |
| 11月10日(土) | フィールドワーク「プラタモリ出演の本田美和子学芸員と行く! アプリを使って“初めての西国街道”」                       | 中区役所地域起こし推進課                             | 19人  |
| 11月18日(日) | 講演「広島城下町の広がり」と町人文化<br>～町名から見る市街地～」                                     | 広島市役所経済観光局観光企画担当                         | 131人 |
| 12月10日(月) | 授業「博物館資料論」                                                             | 広島市立大学                                   | 23人  |
| 12月14日(金) | 講演「忠臣蔵と広島藩」                                                            | 井口公民館                                    | 52人  |
| 12月15日(土) | 講演「広島城下町物語～城下町はいかに整備され、拡大したのか～」                                        | 二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会・二葉公民館・東区役所地域起こし推進課 | 104人 |
| 1月17日(木)  | 講演「安芸区の山城」                                                             | 瀬野公民館                                    | 85人  |
| 2月24日(日)  | 講演「明治時代の広島」                                                            | 安佐南区図書館                                  | 25人  |
| 2月28日(木)  | 講演「広島城下町のおもしろ話」                                                        | 古田公民館                                    | 57人  |
| 3月8日(金)   | 講演「城下町広島の人々とくらし」                                                       | 舟入公民館・牛田公民館                              | 25人  |
| 3月16日(土)  | 講演「広島歴史探訪入門～知られざる、しかし身近な城下町の痕跡を探る～」<br>パネルディスカッション「西国街道まち歩きで、心身の老化を防ぐ」 | 二葉公民館                                    | 46人  |
| 3月17日(日)  | 講演「福島正則」                                                               | 長浜城歴史博物館・長浜城歴史博物館友の会                     | 157人 |
| 3月20日(水)  | 講演「広島城下町の成り立ち」                                                         | 広島陵北ロータリークラブ                             | 40人  |
| 3月24日(日)  | 講演「亀寿山城・相方城と宮氏」                                                        | 福山城築城400年記念事業実行委員会                       | 150人 |

# 2019年度 展示紹介

## 企画展 豊かな里海・広島湾ー海からのめぐみと人びとの暮らし

2019年5月25日(土)～7月7日(日)

かつて豊かな里海に支えられ、時代とともに海と人びとの関わりが移り変わってきた広島湾沿岸部のなりわいや町のにぎわい、人びとのくらしを紹介します。

水彩画「ひび場」(当館蔵)



## 企画展 夏休みおばけの博物館

2019年7月20日(土)～8月25日(日)

おばけ屋敷を体験してもらうとともに、おばけの多様な世界や、おばけを生み出した昔の人々の生活を紹介します。

昨年度の展示の様子



## 企画展 『どんぎつね』が語る昔のくらし

2019年9月4日(火)～11月25日(日)

新美南吉の童話『どんぎつね』のストーリーを交えながら、童話に登場する昔の道具や人々の暮らしを紹介します。

昨年度の展示の様子



浅野氏広島城入場400年記念事業

## 企画展 『広島町新開絵図』にみる浅野時代の広島城下

2019年12月7日(金)～2020年2月17日(日)

江戸時代中期に作成された『広島町新開絵図』。精緻に描かれたこの絵図から城下町の様子を探ります。

「広島町新開絵図」より、現在の広島平和記念公園周辺(広島市文化スポーツ部文化振興課蔵)



浅野氏広島城入場400年記念事業

## 企画展 安芸の名産・特産ー広島藩の殖産興業

2020年3月7日(土)～5月6日(水・振)

江戸時代、広島藩内で生産された牡蠣、海苔などの特産品を取り上げ、その消長について紹介します。

大日本物産図絵 安芸国広島牡蠣蕃養之図(当館蔵)



## ひろしま郷土資料館だより No.97

平成31年(2019)3月31日発行

編集・発行 (公益)広島市文化財団 広島市郷土資料館

734-0015 広島県広島市南区宇品御幸二丁目6-20

TEL (082) 253-6771 FAX (082) 253-6772

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>



広島市郷土資料館

HIROSHIMA CITY MUSEUM OF HISTORY AND TRADITIONAL CRAFTS